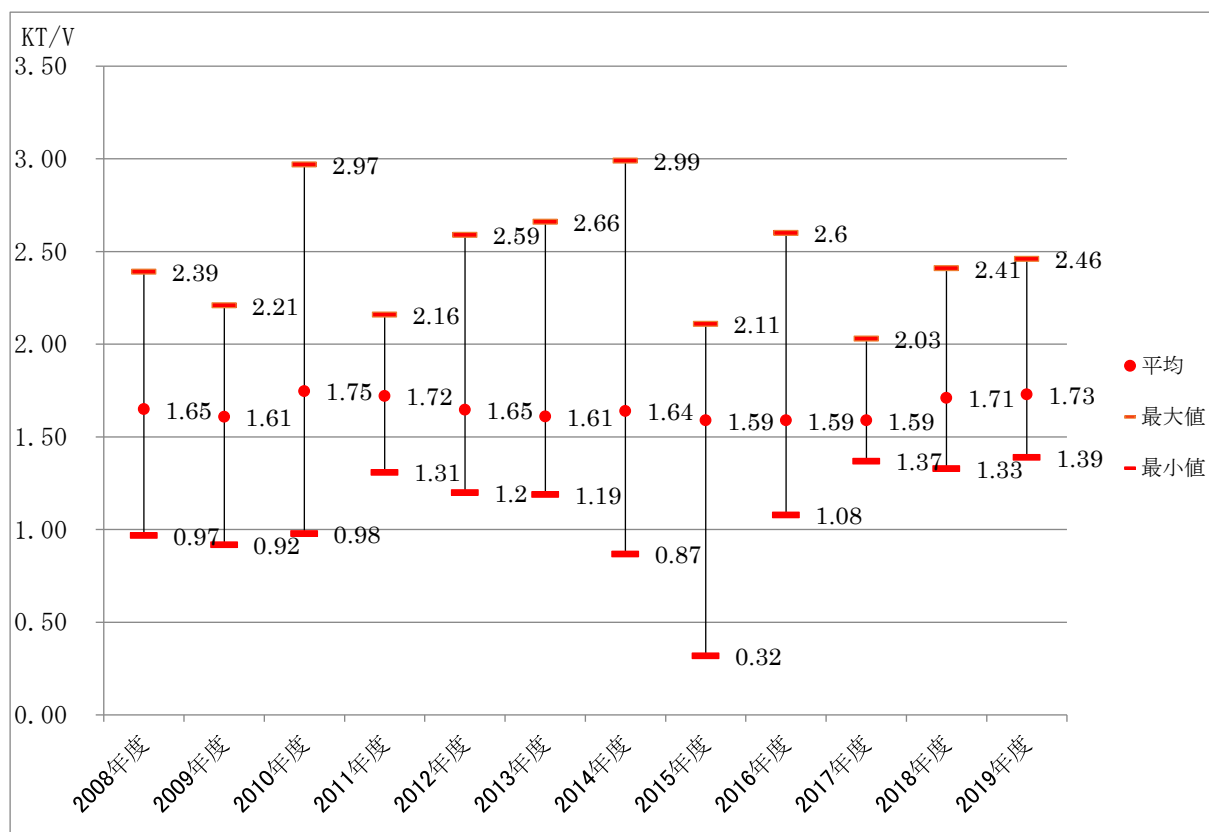


## 4 1. 維持透析患者の透析効率



日本透析医学会のガイドラインでは、最低限の尿素透析量としては  $Kt/V1.2$  が推奨され、目標とすべき尿素透析量としては  $Kt/V1.4$  以上が望ましいとされている。十分に高い  $Kt/V$  を維持することで、患者の生命予後のみならず、合併症予後も改善することが期待される。2019年度の当院の維持透析患者の  $Kt/V$  平均値は 1.7 程度であり、高い透析効率を維持している。当院では毎月  $Kt/V$  を算出し、1.4 未満であった場合は血液流量、血液浄化器、透析時間等の透析条件を見直し、透析効率の向上に努めている。今後は透析効率だけでなく、バスキュラーアクセス、栄養状態を考慮した総合的な透析治療の評価が必要と考える。

データ提供 血液浄化センター